

強制出向裁判通信

「54歳原則出向」を悪用した組織破壊攻撃を許さないぞ！

2022年 4月 8日 No. 12

J R 東海労新幹線関西地本
強制出向裁判プロジェクト

西さんの出向先会社「エムティー」と団体交渉を開催する。

3月23日、J R 東海労新幹線関西地本は、西さんの出向先会社「エムティー」と団体交渉を開催しました。

1月24日、地本は「エムティー」に対して、「西さんの労働条件について」の団体交渉を申し入れました。しかし、「エムティー」からの連絡がなかったり、西村専務の不誠実な対応によって、団体交渉が2カ月の間開催が出来ませんでした。

「エムティー」

- ①団体交渉の申し入れや催促を受けながら2カ月もの時間を要したこと、連絡が遅れたこと、誤解と不信感を与えるような言動があったことはお詫びする。
- ②八尋社長の「うちは団体交渉はしない」は、J R 東海内での労使事案について当社は関係なく労使交渉はしないという発言である。西村専務の「そういう発言はしていない」はこれを踏まえてのことであり言葉足らずで反省している。
- ③八尋副社長の「J R に帰ってもらう」は、J R 東海に対して出向者は西さんに拘らないことと、今回の事案（団体交渉の申し入れ）の報告を行う旨の発言であり、西さんには親切心からJ R 東海への報告と可能性としての復職もあることを伝えた発言である。西村専務の「J R 東海には投げかけて返事待ち」は、当社にとって寝耳に水の出来事であり、どういう状況なのかを問い合わせたもので、これも言葉足らずであったと反省している。
- ④西さんの労働条件については、本日の団体交渉において誠実に対応する。

J R 東海労

- ①団体交渉がやっと開催された。
- ②西組合員は、本人の同意を無視した形で「エムティー」に出向に来ている。一日も早くJ R に戻すように、J R 東海に対して申し入れている。
- ③認識の違いや誤解があったと言われたが、受け取る側はそうは思えない
- ④今後も、西組合員が「エムティー」で働かなければならない状況になれば、西組合員の労働条件改善にむけて団体交渉を申し入れる。

やり取り

J R 東海労「西村専務の不誠実な対応について、エムティーとして認め今後このような対応をしないようにすること」

エムティー「今後は誠心誠意に対応していく」

J R 東海労「西組合員は出向に同意しておらず、無理矢理出向に出されている。出向には納得していないが、エムティーでの仕事はしっかりやる」

(西組合員から「出向に同意していない。J R に戻りたい」と意思表示する)

エムティー「私たちは、西さんを拘束しないし、強制出向にも加担しない」

エムティー「出向に同意せずに来ていることは、私たちとしても不本意である。J R に帰ってもらうようにJ R 東海に伝える」

「エムティー」から、「3月25日午前中、会社（J R 東海関西支社人事課富岡・足立課長代理）からエムティー本社に来てもらい、エムティーとして正式に『西さん本人の出向取り消しをされたい。J R に戻してほしい』と伝えた」と連絡がありました。

